

GOLF MEGA STAR

vol.3

ゴルフ界で輝く新星を
紹介するコーナーです



大学生ゴルファー

出利葉太一郎

Profile

2001年5月12日生まれ。B型。福岡市出身。沖学園高等学校卒業、日本大学国際関係国際総合政策学科3年生在学中。身長180センチ。父親の影響で8歳からゴルフを始める。「筑紫ヶ丘ゴルフクラブ」所属。

IDERIHA TAICHIRO



みんなから愛される好青年 20歳の大学生ゴルファー

180cmの長身、爽やかで実直、ほがらかな笑顔が印象的な出利葉太一郎さん。現在、日本大学3年生でゴルフ部に所属している。

出利葉さんは福岡市出身。父親と祖父がゴルフをしていた影響で、幼少期からゴルフに慣れ親しんでいた。

「小学校1、2年生の時、父が仕事をしながらゴルフ競技に出ている。その応援にいったのを覚えています」

グリーン上で活躍する父親の姿は子どもながらに誇らしく、少年の心に深く刻まれた。小学2年生から、テンフィンガーグリップ(※)の推奨者で知られる篠塚武久先生のもとで本格的にゴルフを習い始める。

「時松隆光プロと同じ師匠に習っています。小さい頃からテンフィンガーグリップなので自然な形で身につきました」

(※)テンフィンガーグリップ……別名ベースボールグリップとも呼ばれ、野球のバットを握るようにクラブを握るのが特徴。

学友のエールを胸に 小中学校から大会出場

小学生の頃から九州大会でたびたび優勝していた出利葉さん。中学校は公立の学校に通い、勉強とゴルフの両立が大変だったという。

「いつも学校が終わってからゴルフの練習をしていました。中学3年生になると平日に開催される試合にも出場するようになり、学校に行けない日もでてきました」

試合で授業に出られない出利葉さん

んのために、同級生が率先してノートをとってくれたという。

「試合に出る時は、クラスのみんなが寄せ書きで応援メッセージを書いてくれました。応援してくれるみんなの為に頑張ろうと思いました」

高校は冲学園へ進学 輝かしい戦歴を残す

高校はゴルフ部で有名な冲学園高等学校(福岡市博多区)に進学。

「高校生の時は自転車で通学して

いました。学校と練習場も自転車で往復し、1日20km漕いでいました」

高校1年時に九州ジュニアゴルフ選手権優勝、2年時に九州高等学校ゴルフ選手権新人戦優勝、国民体育大会優勝、3年時に全国高等学校ゴルフ選手権大会(緑の甲子園)で団体優勝、九州アマチュアゴルフ選手権優勝など、高校時代に輝かしい戦歴を残す。

「いつもは個人練習ですが、団体戦になるとゴルフ部のみんなと一緒に戦うのが楽しかったですね」

高校3年生の時、QT(※)を受けファイナルまで進み、ツアーメンバー入りまであと一歩のところで敗退。

「翌年度のチャレンジツアーには何試合か出場できたのですが、プロゴルファーになる前に今しかできない人生の糧となる様々な経験や勉強をしたいと思い、大学のゴルフ部に進む決意をしました」

(※)QT……クオリファイングトーナメントの略。ツアー本戦へのシード権を持つための選手が、来季のシード権を得るために参加する大会のこと。

ゴルフを通して
感謝の気持ちを伝えたい。





名門・日大ゴルフ部

コロナ禍での大学生活

出利葉さんが所属する日本大学ゴルフ部は多くのプロゴルファーを輩出した歴史と伝統のある部だ。全国各地からゴルフの上手い学生が入部し、部員は総勢130人程。部内で試合や合宿が毎週のようにあり、ハードな毎日を送っている。

「部内競争が激しいです。だからこそ、自分のレベルが上がっていく。ライバルがいっぱいいる環境だから休んでいられません」

大学1年時には、新型コロナウイルス感染症が流行し、試合の中止が

相次いだ。

「あの頃は、ゴルフがあまりできませんでした。読んでいた本を、本を読んだりして、自分と向きあう時間が増え、内面が大きく成長できたように思います」

大学2年時は、コロナ禍で中止になっていた試合も少しずつ復活。九州アマチュアゴルフ選手権で2連覇、日本アマチュアゴルフ選手競技2位など、華々しい活躍をしたが、出利葉さんは満足していない。

「実は去年は春先調子が悪く、最終的に結果は残せましたが、苦しい一年でした。今年が出る試合は全部優勝するという気持ちで臨みます」

初心の輝きは忘れず

ゴルフはより戦略的に

大学生になってゴルフの攻め方に変化はあっただろうか。

「コースレイアウトや風、グリーンの状態、自分のコンディションなど、コースマネジメントを戦略的に考えるようになりました。ゴルフは1日18ホール、それが4日間72ホールあるから、1ホールに集中していたら精神的に持ちません。どれだけメンタルのゲージを減らさずに次のホールへいけるか。前は1ホールで一喜一憂していましたが、今は平常心を心がけています」

ゴルフ部での活動が忙しく、なかなか実家のある福岡には帰って来られないと言う出利葉さん。

「福岡に帰ってきた時、弟2人とゴルフをするのが楽しいです。弟たちはゴルフをする時、目がキラキラ輝いて、楽しそうな気持ちで伝わってきます。ゴルフを始めた頃を思い出し、自分も新鮮な気持ちでゴルフ

をしたなと思えました」

最後に、今後の目標を聞いてみた。「大学最後の年にQ.Tを受けます。そのままシードをとって、日本で賞金王になって、アメリカのメジャーに参戦するのが目標です！僕のプレーを観て一人でも多くの方を感動させ夢や希望を与えられる、そんなプロゴルファーになりたいです」

取材協力

筑紫ヶ丘ゴルフクラブ

■住所:福岡県那珂川市後野571
■電話:092-952-6011





出利葉 太一郎さんに 聞きました!

Q.ドライバー平均飛距離は?

290ヤード

Q.ベストスコアは?

63(大分東急)

Q.得意なクラブは?

ウェッジ、パター

Q.憧れのアスリートは?

大谷翔平さん

Q.好きな音楽は?

湘南の風

Q.好きな映画は?

名探偵コナン

Q.好きな食べ物は?

イチゴ

Q.嫌いな食べ物は?

ワサビ。ゴルフ部のみなさんでお寿司を食べに行った時、監督から「誰だ、サビ抜きを頼んだのは!」って大声で言われて恥ずかしかったので克服中です(笑)

Q.休日の過ごし方は?

寝ています。

Q.短所は?

人と比べすぎるところ。いい部分はどんどん吸収していきたいです。

Q.長所は?

決めたことはやり通します。日誌、ゴルフについてのノート、身体についてのノート、3冊毎日欠かさず記録しています。日誌は14年前からつけています。

Q.ストレス解消法は?

大学のジムにバイクがあるので体力の限界まで漕ぎます。疲れて何も考えられなくなります(笑)

感謝

出利葉 太一郎

